

施工マニュアル 【FB・巾木シリーズ】

施工・加工工具

	施工方法	加工	その他加工	
		切 断	出隅・入隅	曲 げ
FBシリーズ FB発色シリーズ SK巾木シリーズ SK-NR不陸調整巾木	●接着剤により取付け	スライドマルノコ バンドソー マルノコ盤 シャーリング 【推奨刃はP27を参照】	●裏面中央Vミゾ付・出隅・ 入隅用ヤク物タイプを使用	●工場加工 【曲げ加工最小Rはカタログ P22～28を参照】
ワンライン巾木シリーズ				●現場加工

取付下地別 推奨接着剤

●FBシリーズ・FB発色シリーズ・SK巾木シリーズ・SK-NR不陸調整巾木

	プラスターボード (基材:紙・布)	塩ビ壁紙*1 (基材:軟質塩ビ)	化粧合板*2 (基材:ポリエステル・メラミン)	木・ハードボード	モルタル・コンクリート
無溶剤系	コニシ(株)製 コニシPX2000 コニシPX8000 コニシ内装職人	コニシ(株)製 コニシPX2000 コニシPX8000 コニシ内装職人	コニシ(株)製 コニシPX2000 コニシPX8000 コニシ内装職人	コニシ(株)製 コニシPX2000 コニシPX8000 コニシ内装職人	コニシ(株)製 コニシPX2000 コニシPX8000 コニシ内装職人
溶剤系	コニシ(株)製 コニシG103*3 コニシG10Z コニシ耐熱ハケ塗りHG	コニシ(株)製 コニシG103*3	コニシ(株)製 コニシG103*3 コニシG10Z コニシ耐熱ハケ塗りHG	コニシ(株)製 コニシG103*3 コニシG10Z コニシ耐熱ハケ塗りHG	コニシ(株)製 コニシ耐熱ハケ塗りHG コニシG11Z

●ワンライン

	プラスターボード (基材:紙・布)	塩ビ壁紙*1 (基材:軟質塩ビ)	化粧合板*2 (基材:ポリエステル・メラミン)	木・ハードボード
無溶剤系	コニシ(株)製 コニシPX2000、コニシPX8000		セメダイン(株)製 SG-1(R)、(SG-1L)、PM165-R(X)	
溶剤系	コニシ(株)製 コニシG103*3		セメダイン(株)製 540	

(注) 下地の表面が平滑でない場合は外観に影響が出ることがあります。

※1 エンボス仕上げの壁紙は接着施工できません。

※2 化粧合板の仕上げによっては接着強さが足りない場合があります。化粧合板メーカーにお問い合わせください。

※3 G103はF☆☆☆☆は取得していません。

※4 スプレータイプの接着剤は塗布量不足になる恐れがありますのでご使用にならないでください。

無溶剤系接着剤には仮止め用両面テープを併用してください。
施工動画マニュアルで使用している仮止めテープは、「ボンド大手貼り用穴あき両面テープWF003P[コニシ(株)製]」です。

参考納まり図

仕上	クロス貼り・塗装仕上	化粧板(ポリエステル、メラミン)	化粧木板・シート	クロス貼り・塗装仕上
下地	プラスターボード	木	木	モルタル・コンクリート
巾木タイプ	<p>仕上材:クロス貼り 塗装 接着剤 SK巾木 下地材: プラスターボード</p>	<p>仕上材:ポリ板、メラミン 接着剤 SK巾木</p>	<p>仕上材:化粧木 接着剤 SK巾木</p>	<p>仕上材:クロス貼り、塗装 接着剤 SK巾木 下地:モルタル・ コンクリート</p>

施工マニュアル 【FB・巾木シリーズ】



Webサイトで施工動画マニュアルをご覧ください。 <https://www.metacolor.jp/movie/index.html>

施工手順

① 下地調整

- 壁面の不陸調整や釘頭の処理

下地は平滑に仕上げてください。FB・巾木と壁面にすき間があく恐れがあります。

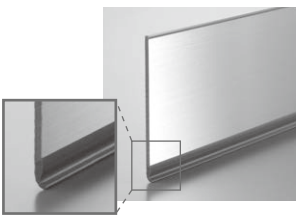
② 表面清掃

- ホコリや油分の除去【接着効力アップのために必要です】

モルタル・コンクリート下地など接着剤の吸い込みが激しい下地の場合はプライマー(シーラー)処理が必要です。

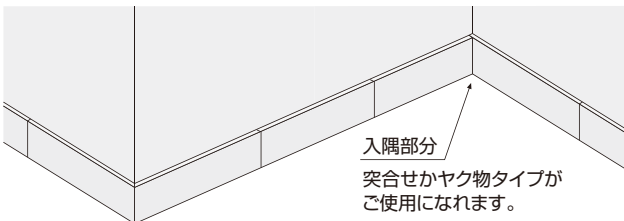
③ 割付け

- 巾木の天端にて墨出し



床との不陸調整機能がある軟質リップが付いた巾木もあります。(詳しくはカタログP28をご覧ください)

- 割付けの参考例を以下に記載します。



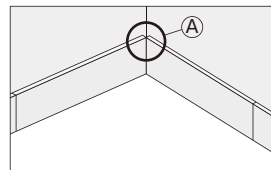
入隅部分
突合せかヤク物タイプが
ご使用になれます。

出隅部分
裏面中央にVミゾ加工を施した
ヤク物タイプがおすすめです。

突合せ



ヤク物タイプ



入隅にご使用の場合は図中の(A)に
Vミゾのすき間が発生いたします。

④ 切断加工

- スライドマルノコやバンドソーで切断してください。
- 切断加工時バリが出る場合は、ヤスリ、サンドペーパーにてバリの削除を行ってください。
- 取り付け施工に際しては、バリが表面に出ないようにご注意ください。

メタカラー専用推奨刃(アイウッド株式会社製)

リフォームソー スライド用				
品番	サイズ(mm)	刃厚(mm)	刃数	内径(mm)
97045	190	2.0	60	20
97046	216	2.0	70	25.4
97047	260	2.4	80	25.4

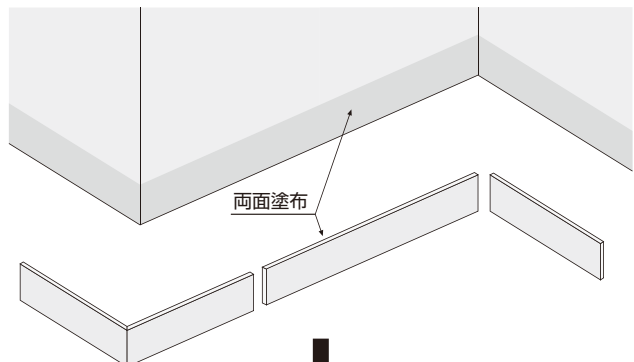


スーパーマテリアルソー スライドマルノコ用				
品番	サイズ(mm)	刃厚(mm)	刃数	内径(mm)
97340	190	2.0	60	20
97341	216	2.0	70	25.4
97342	260	2.4	80	25.4



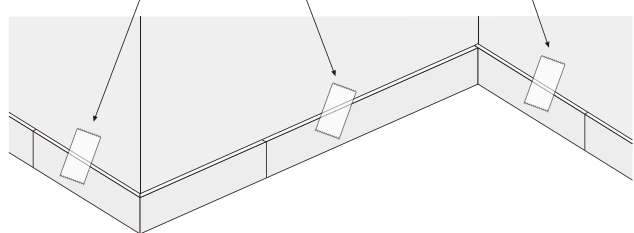
⑤ 取付け

- 取付下地別推奨接着剤はP26をご確認ください。



両面塗布

仮止め用養生テープ
(例:セキスイ#733、#833[積水化学工業(株)製])



施工動画マニュアルで使用している仮止めテープは、「バンド大手貼り用 穴あき両面テープWF003P[コニシ(株)製]」です。

⑥ 保護カバー除去

- 仮止め用養生テープを取ります。
- FB・巾木に付いている保護カバーを取ります。

施工マニュアル 【ワンライン巾木シリーズ】

施工上の特性

- 通常、壁面・床面の施工完了後に施工します。立面施工のため、接着剤が垂れる恐れがありますのでご注意ください。垂れると施工の妨げや壁面・床面の汚れにつながります。
- 細長い形状で幅があるため、床の不陸に追従しにくくなります。

(注) 下地の不陸(凹凸)、ひび割れなどの不具合があるとその部分が製品表面に影響を及ぼすことがあります。必ず下地は平滑に仕上げてください。

(注) 下地で粉ふきが見られる場合はプライマー・シーラー処理を行ってください。プライマー・シーラー処理が不十分な場合、接着剤の接着強度が発現せず巾木が浮く可能性があります。

(注) 直線部分の施工で仕上げ外観を重視する場合につきましては、硬質タイプの【SK-FB-SK巾木シリーズ】製品のご使用をお勧めいたします。

取付下地別 推奨接着剤

●ワンライン巾木シリーズ

	プラスターボード (基材:紙・布)	塩ビ壁紙*1 (基材:軟質塩ビ)	化粧合板*2 (基材:ポリエステル・メラミン)	木・ハードボード
無溶剤系	コニシ(株)製 コニシPX2000、コニシPX8000		セメダイン(株)製 SG-1(R)、(SG-1L)、PM165-R(X)	
溶剤系	コニシ(株)製 コニシG103*3		セメダイン(株)製 540	

(注) 下地の表面が平滑でない場合は外観に影響が出ることがあります。

※1 エンボス仕上げの壁紙は接着施工できません。

※2 化粧合板の仕上げによっては接着強さが足りない場合があります。化粧合板メーカーにお問い合わせください。

※3 G103はF☆☆☆☆は取得していません。

※4 スプレータイプの接着剤は塗布量不足になる恐れがありますのでご使用にならないでください。

施工手順

① 下地調整

●下地の不陸調整や釘頭の処理

下地は必ず平滑に仕上げてください。また、堅牢で乾燥していること、壁面と床面が直角に交わり不陸や不揃いがなく、蛇行や突起がないことを確認してください。

② 表面清掃

●ホコリや油分の除去【接着効力アップのために必要です】

下地の状況に応じてプライマー・シーラー処理を行ってください。

③ 割付け

●巾木の天端にて墨出し

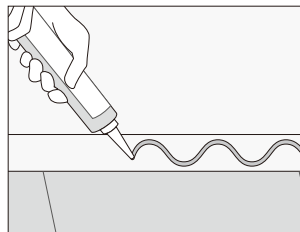
巾木の天端位置から約5mm下げて墨出し線を設定してください。

④ 接着剤塗布

◆無溶剤系接着剤の場合

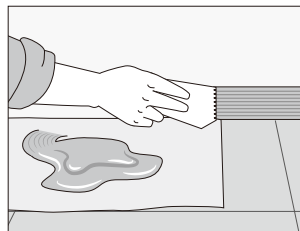
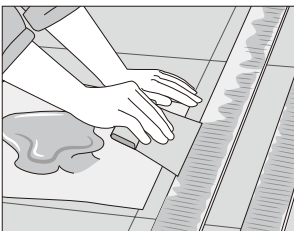
下地の墨出し線より下に接着剤を波線状に塗布し均一に塗り広げてください。

※塗布量が多すぎると下地の接着跡が目立つことがあります。



◆溶剤系接着剤の場合

接着剤をヘラやくし目などで用いて下地と巾木の両面に均一塗布後、所定のオープンタイムを取ってください。

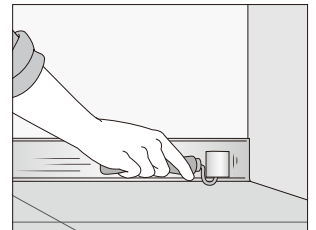
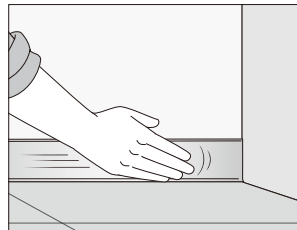


⑤ 取付け

●ワンライン巾木を端から順を追って貼り付けてください。

巾木の貼り出しは入隅部分からが基本です。

ハンドローラーで長手にしごくように圧着してください。



- 接着剤が完全硬化するまで仮止め用養生テープを貼り付けて固定してください。

⑥ 仕上げ

- 壁面・床面にはみ出してしまった接着剤は硬化する前に取り除いてください。

- 接着剤の完全硬化後、仮止め用養生テープを取り除いてください。

- 巾木に付いている保護カバーを取り除いてください。

- 汚れや剥がれ、浮き、隙間などがいないか確認してください。

施工上のご注意

- ハサミによる切断は断面が変形する場合がありますので適しません。また、カッターナイフでのカットや溝加工も、けがを恐れますので避けてください。

製品に関するご注意

- 周囲温度が適正温度範囲(-10℃~60℃)外の場所では、使用・保管しないでください。

- 多湿となる環境下での使用・保管も避けてください。

- 屋内使用製品です。屋外や軒下では使用しないでください。

- 水廻りでの使用も避けてください。

- 製品保管時は梱包箱に入れ、必ず平置きにして保管してください。たて掛けなどは行わないでください。